

# 研究主題

## 笑顔でコミュニケーションする児童の育成

～外国語・外国語活動の授業づくりを通して～

一小での外国語の授業の進め方

Welcome to  
Musashino Dai ichi  
Elementary School!!  
This is our English class!!



次時

① Greeting

前時の振り返り



② Warming up

Story time

Small Talk

Chants

Songs



③ Today's goal



⑤ Review



④ Activity

Listening

Demo

Activity①

中間評価

Activity②



令和2年1月24日(金)  
武蔵野市立第一小学校

# 研究構想図

社会的背景・2020年度から外国語教科化(年間70時間(5・6年)35時間(3・4年))  
・国際化と情報化の急速な進展

## 第一小学校の教育目標

- ・自分も人も大切にする子
- ・自ら学ぶ子 ・健康な子

## これからの時代を生きる児童への教師の願い

- ・グローバル社会で生きる力を身に付けてほしい
- ・英語嫌いにならないでほしい

## 児童の実態

- ・「外国語を使えるようになりたい」など外国語への興味・関心は高い
- ・言ったり歌ったりは好きだけれど、外国語で話すことには抵抗がある
- ・何と云えばいいかわからないときがある

## 教員の課題

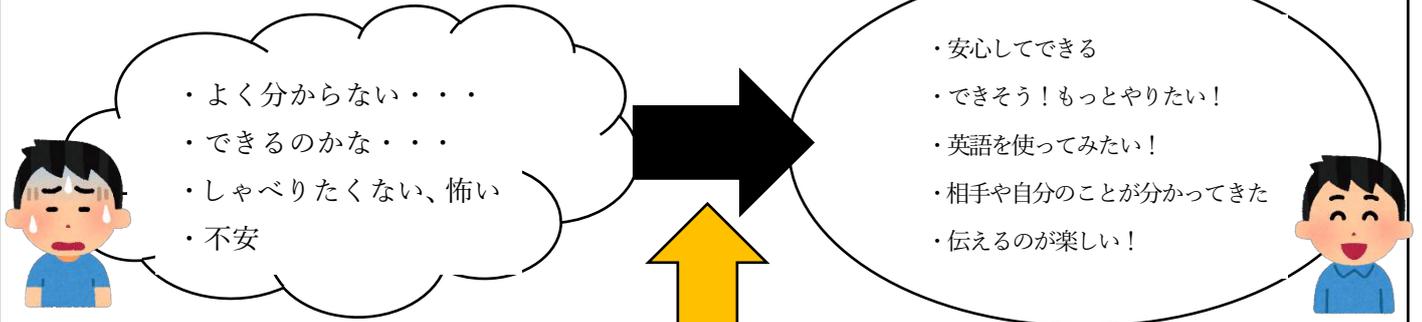
- ・どう授業を進めたらいいかわからない
- ・外国語の授業への苦手意識
- ・授業準備への負担感
- ・ALTとの打ち合わせ時間の確保

## 研究主題

# 「笑顔でコミュニケーションする児童の育成」

～外国語・外国語活動の授業づくりを通して～

## 目指す児童の変容 (外国語に対する児童の思い)



## 研究の手だて 3本柱

### 主体的で

#### 必然性のある設定づくり

- ・目的の明確化
- ・場面や状況の設定の工夫
- ・他教科との関連

### 対話的で

#### よい聞き手の育成

- ・よい聞き手の共有
- ・絵本を活用したやりとり
- ・リアクションの指導

### 深い学び

#### 評価・振り返りの工夫

- ・中間評価によるモデリング
- ・スピーキングテスト
- ・振り返りの工夫

## 研究の手だてを支える日常的な取り組み

### 児童が学ぶ環境づくり

- ・English Day ・校内掲示 ・ALTとの日常の交流 ・1,2年生の英語の歌の交流 ・委員会の発表

### 大人が学ぶ環境づくり

- ・模擬授業による授業検討 ・協議会の行い方の工夫 ・校内演習
- ・毎回の教師の振り返り ・大人のEnglish Day

# 必然性のある設定づくり

言語はコミュニケーションのツールであり、英語を使ったコミュニケーションの先に、どのようなゴールを位置づけるかが重要です。児童がゴールのイメージをもったときに「やりたい!」と思えるような授業づくりのために、私たちは「目的の明確化」「他教科との関連」に力を入れてきました。

## 目的の明確化の例



5年生

【What do you like?】

相手の好みを英語で尋ねてTシャツのデザインづくりをしました。**実際のTシャツサイズ**に切った画用紙を使い、オリジナルのTシャツをつくるというゴールを設定しました。授業の最後の**集合写真**では、友達のデザインに満足し、多くの笑顔が見られました。

## 他教科との関連の例



2年生

【Can I have

~ please.】

“A tomato please.”などの表現を使って、ほしい野菜や果物を集め、動物などの作品作りに挑戦しました。

**生活科の野菜づくりと関連させる**ことで、野菜や数字などの語彙の学習に意欲的に取り組む姿が見られました。

**扱う題材は児童の生活に合わせて工夫する**ことが大切です。

# よい聞き手の育成

コミュニケーションの基本は、聞き手に伝わるように話し、話し手の意図を考えながら聞くことです。使い慣れない英語では特に、自分の発した言葉を受け止めてもらえる安心感が重要です。私たちは、**絵本を活用したやりとりの充実**と、**英語でのリアクション**を教えることに力を入れてきました。

絵本の活用の例



3年生

【What do you like?】好きな食べ物を伝えたり、相手に聞いたりする学習をしました。「What food do you like?」「I like ~.」の表現を学んだ後、**オリジナルの絵本**「Let's have a BBQ party together.」の**読み聞かせ**をしました。「What's this?」などとページごとに教師が問いかけ、答えさせることで、絵本を楽しみながら英語のやり取りに慣れていきました。

リアクションカードの例



Here you are.



How about you?



Nice idea!



Why?



Un-huh.



Yummy.

5・6年生

会話の際、相手の話を受け止め、言葉のキャッチボールを続けられるような手だてとして、高学年では**リアクションカード**を活用し、反応例を示しました。リアクションは、一度にたくさんの言葉を与えず、毎回の授業で徐々に教えていくことで、**少しずつ、安心して、自然に**英語で受け応えできるようになってきました。

# 評価・振り返りの工夫

表情、口調、声量、ジェスチャー、リアクションなどもコミュニケーションの大切な要素です。授業ではアクティビティ中に**中間評価**を行い、よいコミュニケーションを価値付けていきました。（※1時間の授業におけるアクティビティの位置は表紙をご参照ください。）

また、**ふりかえりカード**を活用した自己評価や前時の振り返り、スピーチを中心とした**パフォーマンス評価**も指導をしてきました。

中間評価の例



4年生

【What time is it?】

平日の過ごし方を尋ね合う活動をしました。会話は役割を交代して2回行いました。1回目が終わった時に、ジェスチャーを交えて笑顔で交流していたペアに**全体の前で発表**させました。モデルが示されたことで、児童の中で**よいコミュニケーションが具体化**されて、後半の交流が活気づきました。

パフォーマンス評価の例



【気を付けること】

声の大きさ  
視線・姿勢  
話す速さ  
表情  
ジェスチャー

6年生 【Let's go to Italy.】

来年度の教科化に備え、**単元の終末に発表を行い、評価することを想定して**、単元計画を作成しました。

単元の終末に「友達におすすめの国を紹介しよう」というゴールを設定し、スピーチを行いました。

**【気を付けること】を意識して話せたか、伝えたい内容を話せたか等、自分を振り返り、できるようになったことを確かめたことで**、自信をもってスピーチする児童が増えました。

研究を支える

# 楽しく外国語に触れられる環境づくり

授業で知ったことがどれだけふだんの学校生活につながるかが、児童の学ぶ意欲に大きく関係します。

例えば低学年の音楽に英語を取り入れたり、中・高学年の外国語活動や外国語の授業に関連したカードや授業で作ったカードなどを校内に掲示したりしました。

## English Day

毎週火曜日はイングリッシュデーです。

朝や帰りのあいさつ、健康観察などを英語で行っています。掃除の時間は英語のBGMでノリノリです♪

See you tomorrow!  
Rock, Scissors, Paper ...



Clean up ♪

## ALT との交流



給食中に ALT が学級を訪問しています。(左)  
心の距離がグッと縮まり、どこで会っても英語でコミュニケーションをとろうとしています。(右)

## 校内掲示

数字や動物、曜日など授業でよく出てくる言葉や、日常会話でよく使う言葉を英語で表記しました。掲示物を指さして読みながら階段を歩く子もいます。



# 日常的な取り組み

## Enjoy with different graders singing

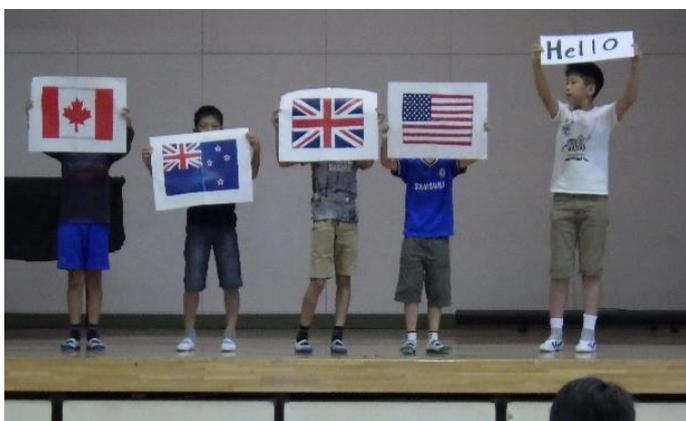


朝学活の時間に2年生が1年生の教室に行き、音楽で習った英語の歌を教える活動を月に一回程度行いました。活動の最後には教わった英語

の歌を1年生が授業でまた歌うというサイクルになっています。

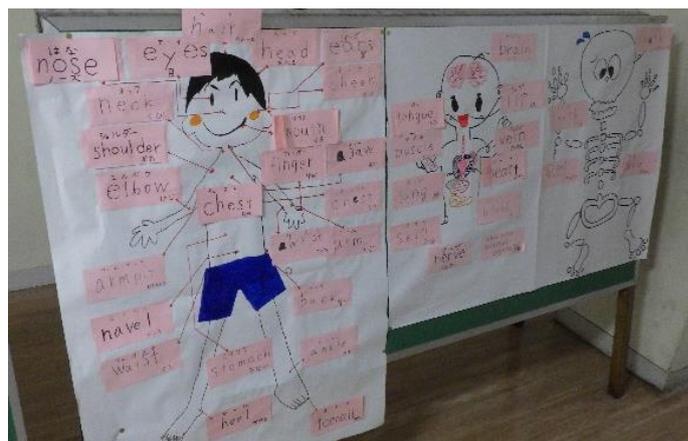
2年生には1年生に教える必然性が生まれる、1年生には教えてもらう安心感が生まれる、などの効果がありました。低学年のうちに歌を通して、英語の発音に触れていることで英語を聞く力が養われます。

## Ideas from through the student council Students



集会委員会では、様々な言語で挨拶をし、それが何語か当てるクイズ大会を開催しました。(上)

保健委員会では、体の部位を英語で言えるようにポスターを作りました。(下)



# 大人が学ぶ環境

## 文字で見るとより やってみよう！



分科会で作った指導案を配って、いきなり研究授業というこれまでのやり方を一新しました。

### 事前模擬授業→研究授業

という流れをつくることで、授業者以外の教員が活動のイメージをもって授業を見ることができました。

## 対話の力で学びの幅を広げよう！

研究全体会や研究協議会は、**ランダムにグルーピング**し、分科会の垣根を超えて意見交流を行いました。

また、講師の話の聞くだけでなく、**アクティビティ**を実際に体験することで、活動のよさを実感し、研究に対する**教員間の雰囲気**が明るくなりました。



### ご指導いただいた先生方

- 佐藤久美子先生 (玉川大学大学院 教育学研究科(教職大学院) 名誉教授・特任教授)  
朝比奈美枝子先生 (連雀学園三鷹市立南浦小学校 主任教諭)  
吉村達之先生 (三鷹の森学園三鷹市立高山小学校 校長)  
笹島茂先生 (東洋英和女学院大学国際社会学部 教授)  
高丸一哉先生 (武蔵野市教育委員会 指導主事)  
諏訪有都穂先生 (武蔵野市小学校英語教育推進アドバイザー)  
古館祥子先生



### 研究に関わった教職員 (○は研究推進委員)

- |    |       |       |      |           |               |       |      |      |
|----|-------|-------|------|-----------|---------------|-------|------|------|
| 校長 | 新井保志  | 副校長   | 朝井貴世 | 専科        | ○前田健一         | 庄司こずえ | 駒形寿子 | 高木亜紀 |
| 1年 | 村上弥香  | ○二川佳祐 | 東実江子 | 事務        | 中島暢之          | 小出美和子 | 千葉愛子 |      |
| 2年 | ○森井遥香 | 宮下智帆  | 小林直哉 | 用務        | 吉村政秀          | 周詞真吾  |      |      |
| 3年 | ○保坂雅幸 | 小泉知子  |      | 特別支援教室専門員 | 金子なおみ         |       |      |      |
| 4年 | 小川周平  | ○井上将宏 |      | ALT       | GustavoMagana |       |      |      |
| 5年 | 小松京子  | ○青野翔  |      |           |               |       |      |      |
| 6年 | ○清水夏希 | 熊崎美和  |      |           |               |       |      |      |

<平成30年度>

落合大輔 土方緑 志摩邑亮一 及川英人 MatthewUnderwood